

平成 26 年度

事業報告書

公益財団法人 横浜市シルバー人材センター

概 況

横浜市シルバー人材センターは、「基本計画2016・第2期」(2012～2016)及び平成26年度「事業計画」並びに横浜市との「第3期協約」の最終評価を踏まえ、公益財団法人としての役割を果たすべく、高齢者への就業機会の確保・提供を着実に推進するとともに、地域貢献活動の一環としてのサービスの拡充・強化、高齢者層の社会参加拡大に向け、各種事業に取り組みました。

県内の景気は、緩やかな回復基調を示しており、企業部門では、生産、輸出等持ち直しの動きがあるとともに、家計部門でも、雇用・家計所得で改善傾向にあったことから、民間企業等からの受注増を背景に、契約金額が約42億円と、目標契約金額約40億円を上回るとともに、対前年度比103.4%と、平成24年度からの対前年度比プラスを3年連続としました。

なお、会員数については、26年12月に「会員登録料の無料化」、「ネット会員登録」等、会員登録制度の変更を行うとともに、会員自らが会員を獲得する「会員増強キャンペーン」の実施等、あらゆる機会を捉えた会員募集活動を行った結果、前年度に比べ600人の増の10,893人となりましたが、目標とした会員数11,000人の達成はできませんでした。

家事簡易サービス「ちょこっとサポート」の対象エリアを緑区・青葉区の2区に拡大実施するとともに、宅配業務の受託や「こどもふれあいサマースクール」、「シルバー農園おすそわけ販売」を行うなど、地域ニーズに寄与する新たな事業にも取り組みました。

隔年で実施している「顧客満足度調査」結果に基づき、発注者への利便向上として、「コンビニ収納」を個人家庭中心に実施するとともに、接客力の向上のために就業会員に対する接遇研修等を行いました。

また、全会員に「会員意向調査」を実施し、就業希望職種の確認や「ちょこっとサポート」、「宅配業務」、「おさらい教室」等の就業希望確認を行い、就業の提供・確保等を図りました。

また、横浜市健康福祉局から受託した「生きがい就労支援スポット」では、社会福祉協議会、老人クラブ連合会や金沢区との連携のもと、高齢者層の社会参加拡大に向けた就労開拓、コーディネート等を実施しました。

その他、26年10月から、職業紹介事業を「有料」に切り替えるとともに、雇用・就業機会の確保と適正就業等を図るため、情報収集・提供を行いました。

当センターでは、「横浜市中期4か年計画2014～2017」『あらゆる人が力を発揮できるまちづくり戦略』の中で、就業機会の提供拡大や家事援助サービス等の展開に取り組み、「就業延人数90万人」を実現することが数値目標として掲げられています。

また、これに呼応し、横浜市と協議して策定した新たな協約においても、この就業延人数のほか、「高齢者就業を通じた地域活性化の実施」、「家事簡易サービスのエリア拡大」、「会員数の拡大」について、目標を定めています。

当センターを取り巻く環境は、未だ厳しいものがありますが、目標達成に向けて、役職員一丸、会員の皆様とともに取り組んでまいります。

1 事業実績

(1) 会員数

平成26年度は、民間企業等の景気・雇用状況等の改善される中、会員登録制度の変更等による会員増強を図った結果、26年度末の登録会員数は10,893人となり、年度当初の10,293人から600人の増加となりました。

新規登録された会員数は2,676人で、前年度の2,317人に比べ359人(+15.4%)の増加となりました。26年12月から「随時登録」、「ネット登録」の実施とともに、「会員募集用パンフレット」のリニューアル作成と各公共機関等への配架・配布等のほか、会員が不足している地域・職種を中心に、チラシ等配布を行い、会員増強を図りました。

なお、登録会員に占める女性会員の割合は、入会促進等を図った結果、前年度と比べ1.2ポイント増加し、34.1%となりました。

センターへの入会動機では、「経済的理由」と「生きがい・社会参加」が29.5%と同率で多く、順次、「健康維持」が21.8%、「時間的余裕」が14.2%と前年度同様の順位になっています。

また、就業率は、受注への適正な対応や会員への就業提供等を行いました。70.3%と前年度の72.1%と比べ1.8ポイント減少しました。

登録会員が希望する職群（構成比%）の順序は、前年度同様に、①一般作業（33.8%）、②施設管理（18.9%）、③事務整理（13.1%）となっています。

◇過去3年間の推移

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度
会員数（人）	10,037	10,295	10,893
対前年度比（%）	(99.4)	(102.5)	(105.8)
男女比(男/女)	68.0/32.0	67.1/32.9	65.9/34.1
契約金額（千円）	3,863,176	4,074,758	4,212,233
対前年度比（%）	(100.4)	(105.5)	(103.4)
就業率（%）	71.6	72.1	70.3

◇過去5年間の新規登録会員数（単位：人）

平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
2,129	2,002	2,128	2,317	2,676

(2) 契約金額と件数

26年度の「公共・外郭団体」については、引き続き、契約方法や削減変更、指定管理者制度の実施等の影響で、横浜市及び外郭団体からの受注が減少傾向の中、12月の衆議院選に係る選挙公報配布業務等の受託や指定管理者等への会員の就業確保等を図りましたが、契約金額は、前年度に比べ減少となりました。

一方、「民間企業」については、景気回復等の兆しの中、一部の業種・職種を中心に堅調な受注増により、受注件数27,613件（対前年度比+3.6%）・契約金額31億9,835万円余（対前年度比+6.6%）と増加しました。

なお、「個人家庭」については、福祉・家事援助サービスや植木の手入れ、除草等において、発注者ニーズに応えるため、会員への積極的な就業促進等を図りましたが、対前年度に比べ受注件数とともに、契約金額が減少となりました。

26年度全体の契約金額は42億1,223万円余（対前年度比+3.4%）、受注件数が56,378件（前年度対比+0.4%）と前年度対比実績の増加となりました。

次に、職群別に受注件数を見ると、「渉外」職群については、前年度対比（+4.9%）と選挙公報配布等により増加となりました。

（参考）

◇発注先別契約実績

発注先	平成25年度				平成26年度					
	契約金額 (千円)	構成比 (%)	受注件数 (件)	構成比 (%)	契約金額 (千円)	構成比 (%)	対前年度比 (%)	受注件数 (件)	構成比 (%)	対前年度比 (%)
公共	239,407	5.9	1,334	2.8	199,550	4.7	83.3	1,308	2.3	98.1
外郭	309,422	7.6	1,773	3.1	296,920	7.1	95.9	1,822	3.2	102.8
民間	2,998,896	73.6	26,645	47.0	3,198,354	75.9	106.6	27,613	49.0	103.6
個人	527,033	12.9	26,376	46.9	517,409	12.3	98.1	25,635	45.5	97.2
合計	4,074,758	100.0	56,128	100.0	4,212,233	100.0	103.4	56,378	100.0	100.4

◇職群別契約実績

職群	平成25年度				平成26年度					
	契約金額 (千円)	構成比 (%)	受注件数 (件)	構成比 (%)	契約金額 (千円)	構成比 (%)	対前年度比 (%)	受注件数 (件)	構成比 (%)	対前年度比 (%)
専門技術	42,771	1.0	464	0.8	45,285	1.0	105.9	471	0.8	101.5
技能	443,264	10.9	12,727	22.7	456,975	10.8	103.0	12,499	22.2	98.2
事務整理	166,141	4.1	1,785	3.2	163,309	3.9	98.3	1,782	3.2	99.8
施設管理	723,638	17.7	3,857	6.9	744,787	17.7	102.9	3,902	6.9	101.2
渉外	482,931	11.9	2,436	4.3	445,563	10.6	92.3	2,555	4.5	104.9
一般作業	1,981,493	48.6	25,682	45.8	2,117,694	50.3	106.9	26,156	46.4	101.8
サービス	234,520	5.8	9,177	16.3	238,620	5.7	101.7	9,013	16.0	98.2
合計	4,074,758	100.0	56,128	100.0	4,212,233	100.0	103.4	56,378	100.0	100.4

2 受注開拓活動の推進（地域社会への支援）

（1）就業機会の拡大

公共・外郭団体における契約の見直しや指定管理者制度への移行、また民間企業においても景気回復の兆しの中、受注開拓や会員増強等を積極的に図るため、本部と事務所との連携強化のもと、役職員が定期的に民間企業や公共団体への訪問PR活動等を実施し、受注獲得・拡大に向け取り組んでまいりました。

一方、社会貢献・地域貢献型事業として、25年10月に高齢者世帯等の家庭に対し、概ね60分以内で完了できる家事支援を行う家事簡易サービス「通称：よこはまシルバー架け橋サービス」を緑区の一部地域で開始してまいりましたが、26年度は対応エリアを緑区と青葉区で実施するとともに、「ちょこっとサポート」と改称し、家事簡易サービスの拡充を図ってまいりました。

また、4月から9月にかけて、ミニコミ誌「タウンニュース」（18区）への会員募集の広告を掲載するとともに、引き続き、シルバー人材センターの活用促進PR、特に特命随意契約への発注要請等の実施や各事務所長等による各区役所・ケアプラザ・区社協等へ訪問し、受注開拓活動等を行いました。

さらに、25年度に実施した「センター利用等に関するニーズ調査」や26年度実施の「顧客満足度調査」（6）の分析結果に基づく、役職員と事業推進員及び福祉・家事援助サービスコーディネーターが連携を取りながら、発注者ニーズに的確な対応と新規・既存の事業所等への訪問等受注活動に取り組みました。

（2）事業推進員活動（各事務所2名配置）

事業推進員活動は、引き続き、本部・事務所の「受注拡大活動計画」に基づき、各事務所に配置した事業推進員12人により、新規・既存顧客への受注拡大や「ニーズ・顧客満足度調査」の分析結果を踏まえた受注開拓とともに、会員募集のPR活動等を行いました。

◇事業推進員活動の実績

年 度	訪問件数	受注件数	受注金額	就業実人員	就業延人員
平成25年度	74,391件	4,457件	127,822,680円	6,119人	20,364人日
平成26年度	202,446件	4,933件	272,629,812円	19,092人	91,741人日

※訪問件数はチラシ配布を含む

（3）社会貢献・地域貢献活動の推進（家事簡易サービス等の拡充）

ア 高齢者世帯等への簡易型家事サービスの推進（26年度実績：29件）

平成25年10月1日から、横浜市緑区の一部地域の高齢者世帯（概ね65歳以上）を対象に開始した簡易型福祉・家事援助サービス「よこはまシルバー架け橋サービス」を「ちょこっとサポート」に改称し、対応エリアを緑区及び青葉区とし、日常の暮らしに欠かせない買い物や外出時の付添い等、家事全般の内、概ね最大60分以内に完了できる家事の支援を取り組みました。

イ 大手運送会社宅配業務の受託

9月から大手運送会社から荷物の宅配業務を一部地域（鶴見区・旭区・金沢区・緑区・戸塚区・泉区）で開始しました。今後、地域の見守り等、地域貢献に繋がる業務として順次事業拡大を図ってまいります。

ウ 小学校の社会学習への協力

夏休み期間中に「こどもふれあいサマースクール」を開校し、小学1年生から6年生に「国語・算数・英語」のおさらい教室、並びに親子を対象にした「カブトムシまつり」「パンづくり」「そば打ち」教室を開催しました。

なお、「カブトムシまつり」は、滋賀県栗東市シルバー人材センターとの共同事業として実施しました。

(4) 企画提案方式事業の推進（国の高齢者就業機会確保事業等に係る補助事業）

- ア 横浜市中期4か年計画の「環境行動・地域温暖化対策の推進」の取り組み
磯子事務所に、「ISO14001(環境)・エコアクション21 認証取得」等の支援活動を展開する開拓員（資格:環境・品質マネジメントシステム審査員、ISO 内部品質監査員等）を6名配置し、金沢工業団地の事業所等を中心に訪問活動を実施しました。
27年1月に、カレンダー等企画制作会社と「業務改善のための支援業務」の契約を締結し、業務管理等の支援活動を行いました。
- イ 同4か年計画の「100万人の健康づくり戦略」の取り組み
磯子・緑事務所に配置した福祉・家事援助サービスコーディネーターにより、ひとり暮らし高齢者への「地域貢献型・福祉家事援助簡易サービス」サポート事業を展開しました。

(5) 地域ニーズ対応事業の推進（新規）

- ア 横浜市中期4か年計画「施策4 未来を担う子どもたちを育成するきめ細かな教育の推進」
学習指導経験のある会員が講師となり、小学生を対象に「こどもふれあいサマースクール」を開催しました。
- イ 同計画「施策29・食と農の新たな展開による横浜農業の振興」
会員が各々家庭菜園で栽培したシルバーマルシェ「野菜おすそわけ販売」を、磯子事務所で月2回開催しています。その他、金沢区民まつり、うらしま祭(神奈川区)、ハーモニーみどりふれあいまつり(緑区)でスポット開催しました。
- ウ 横浜市中期4か年計画「施策29・食と農の新たな展開による横浜農業の振興」
緑事務所に配置した福祉・家事援助サービスコーディネーターにより、「ちょこっとサポート」(再掲)等を通して、高齢者世帯の日常の生活支援を取り組みました。

(6) 顧客満足度調査（隔年）の実施

平成26年9月11日から10月15日にかけて、顧客満足度調査を家庭と事業所に分けて行いました。平成24年度(前回調査)との比較を通じて、サービスのあり方等を検証し、今後の事業経営やセンターの普及啓発に役立ててまいります。

－ 調査概要と主な調査結果 －

	家庭 (2,000 世帯調査)	事業所 (600 社調査)
調査時期	平成26年9月11日～10月15日	
調査方法	請求書に調査用はがき同封	事業推進員訪問活動聴取と郵送
回収数	677件 (前回800件)	468件 (前回442件)
回収率	34.5% (前回40.0%)	78.0% (前回76.7%)
主な調査結果 ()内は前回(24年度)との増減	(1) 仕事の出来ばえ 満足+おおむね満足:91.0% (-0.6) (2) 会員の言葉づかいや態度 満足+おおむね満足:89.0% (-1.6) (3) 事務所・職員の対応 満足+おおむね満足:85.0% (+2.8)	(1) 仕事の出来ばえ 満足+おおむね満足:85.0% (+2.7) (2) 会員の言葉づかいや態度 満足+おおむね満足:81.0% (+4.5) (3) 事務所・職員の対応 満足+おおむね満足:81.0% (+4.5)

(7) 会員によるセンター事業のPR活動

前年度に引き続き、区民まつり等地域イベントに参加し、事業紹介や受注拡大のためのチラシの配布等を行い、センター事業のPRを行いました。

また、27年1月発行の会報第100号に、会員1人が1人仲間を増やす運動による「会員増強キャンペーン」を掲載・実施し、会員登録の啓発を行うとともに、会員の不足している職種（特に技能・軽作業・清掃・家事）や地域など、事務所毎に特徴を持ったPRチラシ（エリア毎・就業内容等を具体的に掲載した会員募集）の作成・配布を実施し、センターの普及啓発に努めました。

(8) 独自事業の実施

独自事業は、会員の培った専門的技術や技能を講習会等の講師として役立て、併せて広く市民に還元していくことを目的に実施しています。

26年度については、新たに磯子事務所で、シルバーマルシェ「野菜おすそわけ販売」を実施するとともに、人気の高い「中高年英語教室」、「IT講習」等を開催し、会員の自主的な運営による講習会として強化を図りました。

また、例年好評の「親子ふれあい教室」は「そば打ち」と「パンづくり」を開催しました。

◇独自事業の実施状況（会員講師及び運営委員：58人）

	教室名	年間開催数(回)	延参加人員(人)	会場
①	実践書道	72	1,325	緑事務所
②	中高年英語教室	594	5,700	戸塚事務所
③	パンづくり (初級)	20	280	本部 調理室
	〃 (中級)	20	300	
④	写真の撮り方 (初級)	11	231	本部 研修室
	〃 (中級)	11	187	
⑤	そば打ち (初級)	16	768	本部 調理室
	〃 (中級)	12	384	
⑥	IT講習	49	614	本部 研修室
⑦	オカリナ教室	20	360	本部 研修室
⑧	シルバーマルシェ 「野菜おすそわけ販売」	27	540	磯子事務所
⑨	こども☆おさらい教室	2	54	本部 作業室
⑩	実践書道	24	257	神奈川事務所
⑪	夏休み親子ふれあい教室			本部 調理室
	そば打ち	2	60	
	パンづくり	2	64	
	カブトムシ祭り	1	54	本部 作業室
	合計	883	11,178	

(9) ホームページ等の活用

ホームページのリニューアル及び掲載情報等の更新等を図った結果、電子メールによる仕事の発注依頼として、26年度146件（前年度56件）の発注申込件数があり、センターの事業PR、受注拡大等を図りました。発注の主な内容は、家事サービス、子育て支援、工場見学施設の作業等です。

また、全国シルバー人材センター事業協会のインターネットによる受注システム「シルバーしごとネット」により、26年度21件（前年度17件）の受注がありました。

仕事内容としては、結婚式招待状の毛筆宛名書き、植木剪定、除草、水やり、家庭内の掃除等です。

3 広報普及啓発活動の推進

(1) 広報媒体を活用したPR

ミニコミ誌への記事掲載を活用し、センター事業のPRを図りました。

◇ ミニコミ誌の活用

- ・4月から9月にかけてミニコミ誌「タウンニュース」に会員の就業紹介として高齢者住宅での食事づくり、家事援助、障害者施設の支援、植木剪定等を掲載するとともに、会員募集広告を記載（18区：西区・中区は併用版）

(2) ポスターの掲出とパンフレット・リーフレット等の配布

前年度と同様に、センター事業の普及・啓発を目的に、市営バスや市営地下鉄の駅構内、市内公共施設等にPR用ポスターと市営地下鉄の車内でのLED掲出をしました。

また、会員募集用パンフレット・家庭向けリーフレットを事業推進員のPR活動等で活用するとともに、地域や職種に限定した会員募集用パンフレットやチラシの配布を行いました。

なお、神奈川県シルバー人材センター連合会による神奈川県下のセンター（相鉄沿線及び近辺の横浜、大和、座間、海老名、藤沢、厚木、相模原、川崎）の就業確保・充実を図る目的で、相模鉄道車内に受注開拓ポスターを掲出しました。（掲出期間：平成24年10月～平成26年10月までの2年間、掲出部数：152枚・456車両の内の152車両）

◇ポスター及び市営地下鉄車内LEDの掲出状況

掲出先	掲出期間	掲出箇所・部数
地下鉄駅	平成26年10月13日（月）～10月19日（日）	32駅36箇所
地下鉄車内	〃（LED掲出）	37駅222輛666箇所
市バス車内	平成26年10月14日（火）～10月20日（月）	全車両900部

◇パンフレット印刷部数

内容	部数
会員募集用パンフレット	20,000部

(3) インターネットの活用

6月1日にホームページをリニューアルし、センターのしくみ、「はまさぽ」の情報提供、会員登録（ネット登録）や仕事発注の方法、会員への就業提供（お仕事情報等）、技能講習や独自事業の開催状況、ボランティア活動の実施状況等を紹介し、分かりやすい広報活動に努めました。

(4) ワンストップサービス「はまさポ」の推進

団塊の世代を含めた高齢者に対して、豊富な仕事経験を活かせるライフスタイルの実践や多様な働き方等への支援について、就業機会の提供や多様な就業ニーズ等の情報収集や提供を行う「ワークサポート情報プラザよこはま」（通称:はまさポ）の運営に取り組みました。主な取り組みとしては、高齢年者の様々なニーズに対応した働き方・市民活動・起業などに関する横浜市内で実施されている豊富な情報を収集、利用者の希望に合った事業や機関・団体の情報等を紹介しました。

(5) 区民まつり等地域イベントへの参加

各区で開催される区民まつり等に参加し、センター会員のもつ多彩な技術・技能の実演発表や手芸品バザー、PRグッズの配布等を通じて、受注開拓や会員募集等センター事業のPR活動に努めました。

◇区民まつり等地域イベントへの参加状況（事業PR用のリーフレット、ティッシュ等配布）

事務所	開催区	イベント名	開催日	会場	出展内容
神奈川	神奈川	うらしま祭り	9/14(日)	うらしま荘	包丁研ぎ、マルシェ
	港北	ふれあいまつり	10/19(日)	新横浜駅前公園	事業PR、占い
南	西	39回区民まつり	11/2(日)	戸部公園	風船バルーン
	中	ハローよこはま 2014	10/12(日)	横浜公園日本大通り	ロープ結び実演等
保土ヶ谷	保土ヶ谷	区民バザール	10/18(土)	保土ヶ谷公園他	骨強度測定等
磯子	金沢	金沢いきいきフェスタ	10/18(土)	海の公園	マルシェ、骨強度測定
緑	緑	ふれあいまつり	12/7(日)	ハーモニーみどり	手芸品販売、バードカー
	青葉	青葉区民まつり	11/3(月)	青葉区合同庁舎	ビング展示、マルシェ
戸塚	戸塚	ふれあい区民まつり	11/3(月)	東戸塚小学校	パネルクイズ等
	栄	栄区民まつり	11/1(土)	本郷中学校	PRチラシ等配布

- 神奈川県シルバー人材センター連合会及び神奈川県下 12 センターの実行委員会主催による「シルバー祭り」を横浜駅東口の新都市プラザ地下2階で26年9月13日(土)に開催し、会員及び就業機会の拡大を図るため、各センターの事業紹介、相談コーナーや会員実演・交流コーナーを設けました。

当センターは、会員による習字教室を開催し、集客を高め入場者約1,200人が参加され、事業PRを図りました。

4 会員増強と就業体制の拡充

(1) 会員の増強

発注者ニーズの多様化に的確かつ迅速に対応していくため、登録説明会時に登録する会員が希望する職種やスキルの把握をきめ細かく行うとともに、本部・事務所に常設した「就業相談コーナー」において、主に未就業会員の就業相談等を行い、就業の提供や会員の就業ニーズに対し、的確な対応に努め、ミスマッチの解消を図るとともに、ローテーション就業等によるワークシェアリングを図りました。

なお、26年12月に会員登録制度の変更を行い、新たに会員登録を希望する高年齢者に対し、「会員登録料の無料化」や「随時登録」、「ネット会員登録」を実施するとともに、27年1月発行の「会報第100号」会員増強特集号に、会員1人が1人仲間を増やす運動による「会員増強キャンペーン」を展開し、会員募集の啓発活動を行いました。

また、団塊の世代や会員が不足している地域・職種を中心とした会員募集チラシ配布や女性会員の入会促進をするとともに、4月から9月にかけて、ミニコミ誌「タウンニュース」(18区)への会員募集の広告掲載と9月から10月にかけて、各所長等による横浜市老人クラブ連合会主催「横浜シニア大学」で、当センターの事業を紹介するとともに、会員募集活動を実施しました。

(2) スキルアップのための研修会・講習会の開催

発注者の満足度向上と会員の資質・技能向上のため、次の講習・研修を開催しました。

会員のスキルアップにつながるセンター主催の技能講習会として、実施内容等の拡充・整備を図り、需要の多い「緑地管理」、「DIY」、「ハウスクリーニング」講習会の開催をしました。

また、前年度に引き続き、新規及び事故発生会員を対象にした神奈川県造園業協会理事・教育研修委員による植木業務の「安全啓発研修会」及び神奈川労働局長登録教習機関「キャタピラー教習所(株)相模教習センター」講師による安全衛生教育として、チェーンソー・刈払機業務の「電動工具安全啓発研修会」(受講生に技能講習修了証を発行)を開催し、受講義務化による安全啓発も併せて図りました。

さらに、クレームやトラブルを防止するため、外部の専門講師による「接遇研修会」を開催し、会員就業時のマナーとサービス向上等を図りました。多くの会員の参加を得るために、会場は本部と神奈川事務所、緑事務所で開催した結果、6日間で344人が受講しました。

◇講習会の実施状況

	講習名	実施期間	日数	参加人数(人)	会場
技能	○緑地管理(春期)	5/13~5/20	6	24	(株)横浜シサイトライ
	○緑地管理(秋期)	11/11~11/18	6	17	
	○DIY	6/5~6/6	2	27	本部 作業室・調理室
家事	ハウスクリーニング	10/9・10/20	2	42	本部 作業室
合計			16	110	

※ ○印は会員が講師を務めた講習

◇研修会の実施状況

	講習名	実施期間	日数	参加人数(人)	会 場
植 木	植木業務安全啓発	1/15	1	17	本部 作業室
	電動工具安全啓発	2/26～2/27	2	24	北部第一水再生センター
除 草	刈払機安全啓発	3/5	1	24	環境活動支援センター
接 遇	接遇研修 (A)	11/18	1	56	ウィリングよこはま 研修室
	接遇研修 (B)	11/21	1	57	〃
	接遇研修 (C)	11/26	1	72	老人福祉センター うらしま荘
	接遇研修 (D)	11/27	1	57	中山地区センター
	接遇研修 (E)	12/1	1	52	ウィリングよこはま 研修室
	接遇研修 (F)	12/4	1	50	〃
	小 計		6	344	
合 計			10	409	

(3) 就業機会提供等の推進

発注者等のご理解のもと、仕事の分かち合い等を目的としたワークシェアリングの推進やひとりでも多くの会員に就業機会の提供（ローテーションによる就業等）をすることで、適正就業の推進を図りました。

(4) 就業相談コーナーの活用促進

本部・事務所に「就業相談コーナー」を常設し、未就業会員を中心にきめ細かい相談を通じて、就業機会提供を図りました。

(5) 地域班・職群班活動の推進

センター事業を効果的・効率的に展開するため、会員組織による地域班、職群班及び班活動の役割の強化を図っていくことが重要になっております。区または連合自治組織単位等での地域貢献事業（家事簡易サービス）の整備・実施に向けて、会員が主体的に組織運営を行う「地域班・職群班」の構築に向けた役割等検討を引き続き行いました。

○ 職群班活動の推進（会員相互のネットワーク）

安全管理や技能向上、トラブルの防止等を中心に研修・情報交換の場として、会員懇談会を開催しました。

◇植木・除草職群班活動状況

事務所	職群班懇談会	開催日	参加人数(人)	会 場
神奈川	植木班	3/19(木)	32	会員交流室
南	植木班・除草班合同	8/25(月)	44	会員交流室
		2/25(水)	52	
保土ヶ谷	植木班	2/13(金)	34	会員交流室
磯子	植木班・除草班合同	8/29(金)	49	会員交流室
	植木班長会議	2/26(木)	14	
	植木班・除草班合同	3/26(木)	45	
緑	植木班	3/13(金)	30	会員交流室
戸塚	植木班・除草班合同	8/26(火)	54	会員交流室
		2/24(火)	63	
合 計			417	

(6) 福祉・家事援助サービスコーディネーターの活動

前年度に引き続き、福祉・家事援助サービスや子育て・高齢者支援業務等の受注拡大に向けた体制整備を図るため、福祉・家事援助サービスコーディネーターを5事務所に各2人、特に福祉家事サービスの受注件数の多い南事務所は3人とし、計13人を配置しました。

サービス業務の適切な就業実施に向けて、「福祉・家事援助サービスコーディネーター用マニュアル」によるコーディネーター業務の取り組みを強化徹底し、発注者のニーズに迅速的確に応えるため、就業会員とのきめ細かな調整に努めるとともに、相談対応や事務所単位での懇談会の開催等、会員への就業促進等強化を図りました。

また、本部主催の福祉・家事援助サービスコーディネーター会議（毎月1回開催）、並びにコーディネーターが中心となった事務所単位の会員懇談会を開催しました。

なお、会員懇談会では、「福祉・家事援助サービス就業会員用マニュアル」によるサービス業務に係る注意事項等について研修を行い、理解周知を徹底するとともに、就業情報の共有や就業体制の強化を図りました。

各事務所のコーディネーターが発注者と会員とのニーズ相談等を行い、個人家庭など的高齢者等支援のきめ細かな推進を図った結果、「福祉・家事サービス」については、受注件数が8,974件（対前年度比-1.8%）と減少となりましたが、契約金額は2億3,264万円余（対前年度比：+1.7%）の増加となりました。

◇福祉・家事援助サービスの実績

区 分		受注件数 (件)	契約金額 (千円)	就業延日人員 (人日)	主な受注例
福 祉	平成 25 年度	747	89,298	19,843	軽易な介護
	平成 26 年度	806	94,320	20,763	付添い、送迎等
家 事	平成 25 年度	8,391	139,373	41,520	家庭内清掃、炊事、
	平成 26 年度	8,168	138,325	41,618	洗濯、子育て支援等
合 計	平成 25 年度	9,138	228,671	61,363	
	平成 26 年度	8,974	232,645	62,381	
対前年度比		98.2%	101.7%	101.6%	

5 安全管理対策の強化・適正就業の推進

(1) 安全管理委員会活動（本部委員6名・支部委員12名）

就業時及び就業場所に向う途上における「事故ゼロ」を目指し、センター役職員・会員で構成する本部・支部安全管理委員会が中心となって、会員就業現場の巡回視察、事故防止に向けた安全啓発活動を行いました。特に植木の手入れ・刈払機の研修会開催や事故の多いスーパー内の作業、マンション清掃等の事故分析に基づく再発防止対策等に取り組みました。

なお、職員、安全管理委員が、毎年開催している神奈川県シルバー人材センター連合会主催の「安全就業研修会」に参加し、転倒・転落・交通安全教育について受講しました。

◇安全管理委員会活動状況

事務所	委員会	巡回視察	安全講習会等の実施内容
本 部	2回	—	○ 交通安全（運転適性検査・交通安全講習）
支 部	69回	182回	○ 植木・除草（電動工具の安全操作啓発等）

《安全研修会の参加状況》 神奈川県シルバー人材センター連合会主催「安全就業研修会」

研修内容	開催日	参加人数(人)	会 場
①「墜落、転落災害等の防止について」 中央労働災害防止協会	8/20(水)	10	かながわ労働 プラザ会議室
②「交通安全教育について」 (自転車・バイク・自動車・歩行) 神奈川県警察本部交通部交通総務課		(職員2人及び保土ヶ 谷・磯子・戸塚事務所の 安全管理委員6人、事業 推進員2人)	

(2) 安全講習会・研修会の開催

前年度に引き続き、植木・除草（刈払機）分野の新規及び事故発生会員を対象にした「安全啓発研修会」及びチェーンソー・刈払機使用に係る「電動工具安全啓発研修会」を実施しました。なお、この研修会を受講義務化（受講後に就業提供）として、植木・除草（刈払機）作業の安全啓発の徹底を図りました。

また、交通災害防止を目的に、自動車の「運転適性検査」、神奈川県警による事務所単位の「交通安全講習会」を開催し、発生事故として多い就業途上（歩行中）での事故防止対策等の講義を実施しました。

（3）安全就業に向けた取組み強化

前年度に引き続き、事務所単位での植木剪定班会議（職群班会議）開催や就業先への巡回視察時等により、作業時のヘルメットや安全ベルトの装着、梯子の安全な取扱い方等の遵守徹底を呼びかけました。

また、安全啓発チラシの配布、会報誌への啓発記事掲載、職群別会員懇談会等で事故発生状況報告等を行い、事故防止に向けた安全啓発を実施するとともに、事務所での就業先への巡回視察及び事故発生会員による「事故報告書」の提出の義務化等を実施し、再発防止と事故発生件数の減少に努めました。

特に事故の多い植木・除草（刈払機）の作業対応には、就業前の安全確認のための「植木作業前安全確認チェック表」と「刈払機作業手順書」を配布し、就業前の養生、機械点検等を義務づけ、安全管理の実践強化を図りました。

さらに、危機管理体制の構築として、会員の緊急連絡先等が明記されている「緊急連絡カード」を会員に発行し、緊急事態に備え就業途上等での携帯を徹底強化するとともに、休日・祝日の就業会員に係る事故発生時等（緊急連絡等）の措置対応強化ため、管理職による休日・祝日の連絡体制（携帯電話の携行）の徹底を図りました。

（4）事故発生状況

26年度は安全就業への徹底強化に向け就業先への巡回視察、事故発生会員に対する「事故報告書」の提出の義務化や植木・除草（刈払機）の安全啓発等に取り組みました。

事故発生件数は、前年度に比べ「傷害事故」は-16件となりましたが、傷害事故の中で、特にスーパー内での作業、清掃作業や就業途上中の事故が多く、事故発生率の高い職種等の巡回視察活動や就業途上（転倒防止等）の安全啓発の一層の強化とともに、重篤事故防止を徹底するため、植木剪定会員に安全啓発チラシの送付等行い再発防止を図りました。

なお、賠償責任事故は前年度に比べ+5件となり、特に植木手入れ・除草の刈払機による事故等が依然と多く、傷害と賠償を合わせた合計は53件（前年度比-11件）となりました。

◇事故発生状況（件）／過去5年間

項目	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
会員傷害事故	34	29	31	44	28
賠償責任事故	15	24	24	20	25
合計	49	53	55	64	53

（5）シルバー保険への加入

会員の就業時や就業現場途上時における万一の事故に備え、傷害・賠償責任事故を補償するシルバー人材センター総合保険に加入しました。

○平成26年度 保険料（会員傷害・賠償責任保険契約に係る金額）2,288万円

◇会員傷害・賠償責任保険金の額（支払条件：事故日から180日以内の限度）

保険名	保険金額	保険名	保険金額
死亡保険金	500万円	入院保険金	4,500円／日額
後遺障害保険金	20万円～500万円	通院保険金	3,000円／日額
賠償保険金	損害を与えた過失割合に基づく査定により時価相当額の賠償		

(6) 適正就業（法令遵守）の推進

新たに受注した仕事や既存の就業先での就業形態（請負・委任等）について調査・検討し、就業実態に即した契約内容の見直し等により、適正な就業を図ってまいりました。

また、26年6月に新業務システムの導入による契約書類等の整備を行うとともに、就業会員に適正就業の周知徹底を図りました。

なお、毎年8月を「適正就業推進月間」と定め、集中的にローテーション就業等を整備し、適正就業の推進をします。

(7) 個人情報の保護及び経営事業の明示

引き続き、会員に対する就業時の個人情報の保護・管理等の徹底について、接遇研修会や各事務所での職群別会員懇談会の開催を通じて個人情報保護に関する説明と理解徹底を図るとともに、新規登録希望者や会員の個人情報の保護強化に取り組みました。

また、当センターが保有する情報の管理や顧客先に提供する就業会員に関する情報についても、適正な保護と管理を徹底するとともに、個人情報保護法等について、職員及び会員への遵守徹底を図りました。

なお、センターのホームページ等を通じて、経営及び事業の実績など、経営情報の積極的な開示を行いました。

(8) 一般労働者派遣事業の推進

請負・委任や無料職業紹介事業の取組みに併せて、高年齢者の多様な働き方に対応した雇用・就業機会の確保として、高齢法の改正でシルバー人材センター事業の特例により認められた一般労働者派遣事業を展開し、適正就業等の推進を図りました。

なお、仕事内容は、12月の衆議院選に係る期日前投票等の人材派遣やスーパー内での作業、機械清掃、資材の出庫等です。

なお、過去3年間の契約金額等については、選挙に係る期日前投票等の契約により、堅固な推移となっています。

◇過去3年間の推移

項目／年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
契約件数（前年度対比）	11件（183.3%）	31件（281.8%）	56件（180.6%）
契約実人員（前年度対比）	260人（1,000.0%）	237人（91.2%）	336人（141.8%）
契約金額（前年度対比）	26,338,415円（153.7%）	49,074,345円（186.3%）	70,009,251円（142.7%）

※26年度選挙に係る契約実績（契約件数：5件、派遣実人員：249人、契約金額：9,173,673円）

(9) 有料職業紹介事業へ移行

平成24年4月26日に「労働者派遣事業の適正な運営の確保及び派遣労働者の就業条件の整備等に関する法律」の一部改正に伴い、無料職業紹介事業は、平成26年9月末まで経過措置により実施し、平成26年10月1日から有料職業紹介事業へ移行しました。

◇平成26度の実績

○無料職業紹介事業（26年4月1日～9月30日）

・求人延事業所数 67件（前年度64件） ・就職人数 4人（前年度195人）

○有料職業紹介事業（26年10月1日～27年3月31日）

・求人延事業所数 94件 ・就職人数 5人

6 市の新規事業への積極的な取組みと円滑な推進

厚生労働省の緊急雇用創出事業（『地域人づくり事業』）を活用した横浜市健康福祉局「アクティブシニア就労等支援人材育成事業」を受託し、意欲ある高齢者が経験やスキルを発揮するための短時間就労・ボランティア先等の開拓やマッチングを行うことができる人材の育成に取り組むとともに、横浜市社会福祉協議会及び横浜市老人クラブ連合会並びに金沢区との連携のもと、「生きがい就労支援スポット」を開設・運営しました。

◇いきいきシニア地域貢献モデル事業「生きがい就労支援スポット」の開設（相談員3人）

横浜市健康福祉局の新規事業「いきいきシニア地域貢献モデル事業」を当センターが受託し、高齢者の心身の状況に合わせた就労や地域活動などの紹介により、社会参加を促していく相談窓口「生きがい就労支援スポット」を平成26年12月15日に開設いたしました。

市内1か所目の窓口を金沢区の複合福祉施設「いきいきセンター金沢」にモデル設置し、事業内容の検証などを行い地域や企業での支え手・担い手として、高齢者が生涯現役で活躍し続けられる仕組みづくりに取り組みました。

◇平成26年度の実績（平成26年12月15日～平成27年3月31日）

- 相談人数 317人（男性184人・女性133人）
- 窓口対応件数 195人（平均年齢68.8歳）
- 相談内容 ①就労(66.8%)、②ボランティア(8.5%)
③地域活動(6.1%)、④その他(18.5%)

7 職員の人材育成（資質向上）と会員との意思疎通の強化

（1）職員の人材育成

本部・事務所職員の相談コーディネート力の向上のための人材育成の一環として、横浜市主催「人権啓発講演会」や神奈川県主催「個人情報保護に係る事業者研修」、「認知症サポーター養成講習」等に、受発注業務に係る職員が参加しました。

（2）会員との意思疎通の強化（会員意向調査の実施・会員の自主活動への支援）

◇会員意向調査の実施

26年9月発行の会報第99号に「会員意向調査」を同封し、ちょこっとサポート、子育て支援、宅配業務等地域に根差した就業希望、趣味や特技を活かした就業希望と加えて将来の情報発信ツールとして期待できるIT機器の利用状況等を把握し、今後の事業運営等に反映するため、調査を実施しました。なお、調査結果の分析により、会員が講師となる「独自事業」や受注開拓活動の拡充を図りました。

【調査結果】

調査項目	調査内容結果
調査対象	平成26年8月末日現在の登録会員 11,075人 (男性7,388人・女性3,687人)
回収状況	回収件数 4,899人（回収率44.2%）
就業状況	就業中 3,016人（男性2,102人・女性914人） 未就業 1,605人（男性1,099人・女性506人） 退会者数 278人（男性191人・女性87人）

希望職種	①駐車・駐輪場管理、②スーパー内作業、③ビル・マンション清掃 ④発送・封入作業、⑤マンション等管理
人気上位職種	男性（駐車・駐輪場管理、マンション等管理） 女性（発送・封入作業、家庭内清掃・洗濯）
地域活動等の希望	ちょこサポ 1,404人（男性950人・女性454人） 宅配業務 568人（男性495人・女性73人） おさらい教室 607人（男性129人・女性478人）
I T機器利用状況	①パソコン1,787人、②デジカメ1,382人、③スマートフォン401人、④タブレット258人、⑤その他29人（複数回答）
趣味・特技	ウォーキング、カラオケ、ゴルフなど
資格・免許	ヘルパー、衛生管理者、調理師、電気工事士など

◇会員の自主的なボランティア活動の支援

会員が永年培った技術や技能を活かした地域への貢献並びに会員の主体的なボランティア活動への支援を行いました。ボランティアの内容は、「演芸」、「福祉」、「観光ガイド」、「街の美化清掃」の4つの分野で活動を実施し、福祉施設、公共的施設等を中心に、延べ519人が活動しました。

◇グループ別活動実績

グループ名		主な活動場所	参加延人数
演芸	楽器演奏	地域ケアプラザ、老人福祉施設、地区センター、病院等	148
福祉	介護補助	大豆戸・本牧原・万騎が原・不老町・東戸塚地域ケアプラザ	213
観光ガイド		平和記念碑から弘明寺境内へ、開港当時出来た横浜道周辺の散策、夏期講習「原富太郎(三溪)の思想に対する私の見解」、堀之内の丘の古刹と蒔田の城址と井土ヶ谷事件の碑、旧東海道戸塚宿の宿内を歩く	23
街の美化清掃		横浜駅東口周辺、みなとみらい21地区等	135
延参加会員数計			519

(3) 会員交流会、創作展会への支援

◇事務所での開催状況

事務所	内容	会員交流会 開催数(回)	サークル 団体数	サークル名
神奈川		10	5	探訪、写真、ビデオ、カラオケ、俳句
南		12	5	探訪、書道、カラオケ(2)、相撲甚句
保土ヶ谷		5	5	書道、俳句、囲碁、パソコン、手芸

磯子	12	4	パソコン、彫刻、書道、俳句
緑	10	8	探訪、写真、ボードゲーム、俳句 墨絵、手芸、社交ダンス、パソコン
戸塚	11	5	探訪、書道、絵画、パソコン、写真
合計	60	32	

◇「創作展」の開催

書道、絵画、写真、工芸等全事務所の同好会員で構成される「創作展」は、第31回目の開催を迎え、743人の来場者を得て盛会に開催されました。

◇第31回創作展

会期	平成27年1月7日(水)～1月12日(月)の6日間
会場	横浜市技能文化会館 2階多目的ホール
出展会員数	95人(他1団体)
出展作品数	127点

(4) 会報誌の発行

会報「シルバーセンター」は、会員編集委員の主体的な企画、取材及び編集活動の成果を掲載して定期発行を行っています。

また、記念すべき平成27年1月発行の会報100号については「会員増強特集号」として、他都市でも積極的に行っている「会員1人が1人仲間を増やす」運動を当センターにも取り入れ、会員増強キャンペーンを実施しました。

26年度もセンター事業の進捗状況等や会員の諸活動を紹介する情報誌として、全会員、発注者、区役所、地区センター、ケアプラザ等関係機関へ配布しました。

なお、会報誌は年3回(4月・9月・1月)発行し、企業広告の有料広告掲載を募り、印刷経費等の軽減を図りました。

◇会報の発行実績

内容/号数	第98号	第99号	第100号
発行月	平成26年4月	平成26年9月	平成27年1月
発行部数	15,000部	15,000部	15,000部

8 効率的な業務執行の推進

(1) 「基本計画 2016」第 2 期（平成 24 年度～平成 28 年度の 5 年間）の執行管理

「基本計画 2016」第 2 期（2012 年～2016 年の 5 年間）については、横浜市が策定した「中期 4 か年計画」（2014 年～2017 年の 4 年間）や横浜市との平成 26 年度「年次計画」との整合（連動）を図りながら、数値目標等達成に向け、取り組んでまいりました。

また、26 年 6 月に新業務システムの導入に伴い、より効果・効率的な事務改善等に取り組むとともに、「顧客満足度調査」の結果を受けて、発注者への利便性向上として、12 月から個人家庭を中心に、コンビニ収納を開始いたしました。

○公益財団法人としての適正な運営等の推進

より公益目的の実現に努めることとし、個々の事業を通じて高齢者の生きがいの充実や福祉の増進を図るとともに、活力ある地域づくりに寄与していく事業基盤を強化してまいりました。

公益財団法人として、会員に対し、就業のための「スキルアップの研修会・講習会の開催」をするとともに、地域貢献型家事簡易サービス「ちょこっとサポート」（一部地域実施）の事業等に取り組みました。

(2) 経営基盤の確立と「年会費」制度・事務費率（10%）の推進

厳しい財政事情から、引き続き、事業費・管理費に係る経費、職員の人員体制等の見直し等により経費節減を努めるとともに、事務費率（10%）の獲得及び年会費（1,200 円／年額）の全会員収納を推進し、自主的・自立的な財政基盤の確立等に取り組みました。

◇本部・事務所概要

事務所名	所在地	担当区
本部	港南区上大岡西 1-6-1 ゆめおおおかオフィスタワー 13 階	統括
神奈川	神奈川区立町 20-1 老人福祉センター横浜市うらしま荘 2 階	鶴見・神奈川・港北
南	南区睦町 1-15-15 睦町市街地住宅 2 階	西・中・南・港南
保土ヶ谷	保土ヶ谷区星川 1-4-10 ハイツ・リヴァスター 1 階	保土ヶ谷・旭・瀬谷
磯子	磯子区洋光台 5-7-5	磯子・金沢
緑	緑区中山町 413-4 ハーモニーみどり 2 階	緑・青葉・都筑
戸塚	戸塚区矢部町 1286-4	戸塚・栄・泉

9 評議員会・理事会の開催

平成 26 年度は、次のとおり評議員会、理事会を開催しました。

(1) 評議員会

月 日	場 所	議 案 内 容
平成 26 年度第 1 回 評議員会 平成 26 年 6 月 26 日	シルバー人材センター 本部研修室	第 1 号議案 平成 25 年度事業報告について 第 2 号議案 平成 25 年度決算について 第 3 号議案 理事の選任について
平成 26 年度第 2 回 評議員会 平成 27 年 3 月 30 日	シルバー人材センター 本部研修室	第 1 号議案 公益財団法人横浜市シルバー人 材センター理事の選任について

(2) 理事会

月 日	場 所	議 案 内 容
平成 26 年度第 1 回 理事会 平成 26 年 4 月 1 日	書面評決 (決議の省略による)	第 1 号議案 常務理事の選定について
平成 26 年度第 2 回 理事会 平成 26 年 6 月 19 日	シルバー人材センター 本部研修室	第 1 号議案 平成 25 年度事業報告について 第 2 号議案 平成 25 年度決算について 第 3 号議案 評議員選定委員会委員の選任に ついて 第 3 号議案 平成 26 年度第 1 回評議員会の日 時及び場所並びに目的である事 項等について
平成 26 年度第 3 回 理事会 平成 26 年 6 月 26 日	書面評決 (決議の省略による)	第 1 号議案 理事長及び常務理事の選定につ いて
平成 26 年度第 4 回 理事会 平成 26 年 8 月 15 日	書面評決 (決議の省略による)	第 1 号議案 評議員候補者の推薦について
平成 26 年度第 5 回 理事会 平成 26 年 11 月 14 日	シルバー人材センター 本部作業室	第 1 号議案 公益財団法人横浜市シルバー人 材センター会員及び就業に関す る規程の一部変更について
平成 26 年度第 6 回 理事会 平成 27 年 3 月 18 日	シルバー人材センター 本部研修室	第 1 号議案 平成 26 年度補正予算について 第 2 号議案 平成 27 年度事業計画について 第 3 号議案 平成 27 年度収支予算について 第 4 号議案 平成 26 年度第 2 回評議員会の日 時及び場所並びに目的である事 項等について

(3) 評議員及び理事・監事

(平成 27 年 3 月 31 日現在)

ア 評議員

役 職	氏 名	現 任 期※
評 議 員	塚 原 良 一	平成 24 年 4 月 1 日～平成 28 年度
評 議 員	久 保 田 仁	平成 25 年 5 月 16 日～平成 28 年度
評 議 員	難 波 一 尚	平成 24 年 5 月 16 日～平成 26 年 7 月 31 日
	大 澤 謙 二	平成 26 年 10 月 1 日～平成 28 年度
評 議 員	志 村 一 郎	平成 25 年 9 月 6 日～平成 28 年度
評 議 員	芳 賀 宏 江	平成 24 年 5 月 16 日～平成 28 年度
評 議 員	杉 山 義 行	平成 24 年 5 月 30 日～平成 28 年度
評 議 員	西 森 由 紀 子	平成 24 年 4 月 1 日～平成 28 年度
評 議 員	豊 田 洋 一	平成 24 年 4 月 1 日～平成 28 年度
評 議 員	岡 田 輝 彦	平成 24 年 5 月 16 日～平成 28 年度
評 議 員	牧 野 孝 一	平成 25 年 5 月 16 日～平成 28 年度

※評議員の任期：選任後 4 年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで（但し、任期の満了前に退任した評議員の補欠として選任された評議員の任期は、退任した評議員の任期の満了する時まで）

イ 理事・監事

役 職	氏 名	現 任 期※
理事長（代表理事）	守 屋 直	平成 26 年 6 月 26 日～平成 28 年度
常務理事(代表理事)	久 代 雅 之	平成 26 年 6 月 26 日～平成 28 年度
理 事	畠 山 滋	平成 24 年 4 月 1 日～平成 26 年 6 月 26 日
	山 路 清 貴	平成 26 年 6 月 26 日～平成 28 年度
理 事	阪 間 育 男	平成 26 年 6 月 26 日～平成 28 年度
理 事	公 野 武 久	平成 24 年 4 月 1 日～平成 26 年 6 月 26 日
	飯 島 節	平成 26 年 6 月 26 日～平成 28 年度
理 事	小 田 泰 司	平成 26 年 6 月 26 日～平成 28 年度
理 事	吉 野 明	平成 26 年 6 月 26 日～平成 28 年度
理 事	明 田 千 春	平成 24 年 4 月 1 日～平成 26 年 6 月 26 日

	青 山 進	平成 26 年 6 月 26 日～平成 28 年度
理 事	加 藤 愛 子	平成 24 年 4 月 1 日～平成 26 年 6 月 26 日
	柳 瀬 多 鶴 子	平成 26 年 6 月 26 日～平成 28 年度
理 事	川 島 勝 夫	平成 24 年 4 月 1 日～平成 26 年 6 月 26 日
	城 島 敬	平成 26 年 6 月 26 日～平成 28 年度
監 事	奥 津 勉	平成 24 年 4 月 1 日～平成 28 年度
監 事	関 根 宏 而	平成 24 年 4 月 1 日～平成 28 年度

※理事の任期：選任後 2 年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の
 終結の時まで（但し、任期の満了前に退任した理事の補欠として選任された評
 議員の任期は、退任した理事の任期の満了する時まで）

※監事の任期：選任後 4 年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の
 終結の時まで（但し、任期の満了前に退任した監事の補欠として選任された評
 議員の任期は、退任した監事の任期の満了する時まで）

10 関係機関との連絡調整

センターの円滑な事業運営を図るため、横浜市等行政関係機関、全国シルバー人材センター
 事業協会、神奈川県シルバー人材センター連合会等との連携を深め、事業の円滑な運営に努め
 ました。

なお、各行政関係機関及び団体等については、センター事業の普及啓発に係る連携や法律等
 の改正による事業の指導・助言等を受けるとともに、市及び国の補助事業導入に係る協議・調
 整等を図ってまいりました。